

臺灣總督府  
臨時情報部

# 報部

昭和三十三年十二月十一日

昭和三十三年九月二十日創刊  
昭和三十三年十二月二十一日發刊  
(毎月一日、十一日、廿一日發行)

時局下の臺灣國民防空に就て

(内務局防空課)

皇軍の大捷を祝して  
囂囂に湧く感激譜

(官房法務課)

地方情報

(州廳・臨時情報部)

海外情報

(臨時情報部)

華僑情報

(臨時情報部)

附錄  
部報主要記事索引

第四十七號



# 感泣の手の震ふ



戦線には忠勇無双の皇軍、銃後には盡忠報國の臣民、擧げて東亞の新秩序の建設に邁進して來た昭和十三年も去り行かんす。

顧みて今年は敵の主なる據點厦門、徐州、廣東、漢口續きて陥落し感激多かりしうちにこの歡喜を味はへず、護國の華を散りし勇士に對し限りなき感謝を捧ぐ。

長くも 皇恩優渥、本島人戰没者にも及ぼさる。旭日勳章は永へに武勳を物語る、拜受の手は感泣に震ふ。

## 時局下の臺灣國民防空に就て

内務局防空課

昨年七月北支事變が勃發し翌八月事件が中支方面まで擴大し所謂支那事變に展開するや我が臺灣は防衛下令下に置かるゝになつたので國民防空も之に則し直ちに防空實施の命令が發せられ現に其の狀態の繼續されて居ることは島民周知の通である。此の國民防空とは一般島民が軍隊の行ふ積極的防空に則して空を守る方法であり島民として當然の對策であるのであるが、其の主體が綜合的集團訓練を受けることの尠い大衆であること、内容が多少複雑して居ること、で實效を擧げるには仲々困難を伴ふものであるが何にしても防空下令後直ちに之を實施することの出來たと云ふのは本島に於て國民防空の必要を痛感して夙に之を制度化し平素から既に用意が整へられてゐたからであつて、私共は本制度を創始せられた先輩の卓見と之に協力せられて居つた官民各位の深き理解に多大の敬意を拂ふものである。

然乍ら從來の本島の國民防空の制度は總督府の内訓の形で公布されて居つて内容は其の規程によれば敵航空機の來襲に對する陸海軍の行動に則して市街地又は重要施設資源を保護し且空襲より生ずる危害を防遏し又は被害を軽減する目的で官民が一致して防空監視を爲し警報を傳達し燈火管制を爲す等と云ふことであるのでつまり現在の防空法と略々同様で或る物に就て

は寧ろ廣い内容を十分有して居るのである。然し國民防空の實施に依り島民は個人や團體として又官廳として各種の行爲不行爲が要求され又實效を擧げる爲には或る場合は之を強制され又は豫め各種の準備を命ずる等、そして此の爲に起る利害の衝突を調和し損害を補償する必要を生ずるが此の爲には其の範圍が廣く内容が多い丈にどうしても内訓の規程のみに放任して置く譯に參らず法律の制定が必要となり昨年十一月四日防空法の本島施行となつた譯である。此の實施に依り本島の國民防空は法律の根據を有するものとなり其の爲愈々其の基礎は強化され従つて内容も擴充され制度としては一段の躍進を遂げることとなつたのである。支那事變の進展は御稜威の下我が勇猛果敢な皇軍將士の活躍は陸に海に又空に愈々輝かしさを發揚しつつあるにつれ本島も益々國民防空の重要さを認識し官民一致し國土の防衛にも亦遺憾なきを期して居る譯であつて本年二月臺北新竹方面の敵機空襲に際しても軍防空の完璧と相俟つて能く其の本領を發揮し被害は極めて僅少治安は微動だにせず却つて今後の防空實施に拍車をかける結果を齎す様なことになつたことは御同慶の至りである。

擬本島の國民防空は右の如き進境を見せ又附屬法規としては既に公布された臺灣防空委員會令、臺灣官廳防空規則の外警報規程は本月十日に又燈火管制規則の公布も近いので之等に依り一應法規的形式が整つたかの如くであるけれども何と申しても其の實質の整備は今後に俟たなければならぬのである。此の意味に於て國民防空の意識を充分吟味して頂きたい、そして防空の有する全體性防空行動は部分としてでなく全體として其の實を擧げることのみに依りて效

果を發揮するものであると云ふ意味をよく吟味願ひ度いと思ふのである。

四

話が稍前後する様であるが防空とは其の文字からしても又防空法第一條に掲げられた國民防空の定義からしても甚だ受動的であり消極的であり意氣地がない様であるが決して然らず此の點は「陸軍の行ふ防衛に則應」と云ふことを充分考へて載きたいのである。固より防空を徹底せしむることは制空權の獲得であり敵をして我が國土を覗はしめざることであるが一旦緩急あれば先づ進んで敵航空根據地を爆撃勦滅するのが第一であらう。若し又敵機の來襲があれば堂々之を國土の外に驅逐撃滅する爲に戦闘機、高射砲及高射機關銃を完全に活躍せしむる要があるが之等は正に「軍の防衛」の内容を爲すものであつて之等の點に付ては充分軍を信頼し特に軍から何等かの指示がある迄自分の豫斷に依る獨善的行爲は絶対に避けねばならないが、然乍ら此の軍の防衛の完全なる活動の爲には實に國民防空の充分な實行が豫定されて居るものであることを忘れてはならないと思ふのである。監視哨の視界は五〇米の高所では二十五キロ程度であるが時速三〇〇キロを翔ぶ飛行機は五分間に二十五キロを國土に迫ることになるが、此の距離は臺北、基隆の距離であり、高雄、屏東の距離である。而して國土の上の資源の損害を最少ならしめる爲に我が航空機で之を迎へ撃つことは當然領空の外でなされるのが理想であるが各國航空基地は概ね領土の境界又は海岸線より若干の奥地にあることを常とするから、斯かる敵機來襲の場合其の航空基地よりの出動を充分に迅速ならしめないと戦闘は國土の上で行はれることになるから戦闘自體は當然我軍の勝利になるのであるけれども既に領土を侵すこと丈で

敵にとつて成功であり我が資源は損害を受けることになるのである。即ち如何に我が優秀な航空機が有つても一分の監視報告の差は領土上空で迎へねばならないか、又は之を領土外で撃墜出来るかの境目となるので監視が一分の懈怠も有されない所以である。

又南京見えず漢口亦完全と云つてよい程の燈火管制の暗の中に没して居る中を我が軍は堂々と空襲爆撃し盡して剩す所なかつた過般の輝かしい戦績は固より大和魂の發露が超人的技能となつて現はれたでもあるが、私は其の後數十キロを離れた山中に常に管制されたことのない一寺院の燈火が有つて之が目的地への方向の決定に對し有力なる指示を與へたと云ふ實驗談を伺つたことがある時のことを思ひ合せれば本島の如何なる土地と雖も其の處の一人の燈火管制の失敗は結局本島は勿論帝國領土の上に重大なる影響を與えるものであることを忘れてはならない。

又苟も帝國の戦は常に正義の戦であり従つて戦争は決して單なる破壊でなく新しい政治經濟文化の建設の意味を披つて居るものであるから其の爲には帝國の資源は充分に保全されねばならぬことは申す迄もなく従つて特に第一線から離れた國土の上では戦效を最も有效ならしむべき兵器も彈藥も糧食も又其の次の建設への資材も銃後の國民に依つて最大能率の下に生産されて居なければならぬのです。其の生産の源は之に活動する人である、而も新しい東洋の秩序への指導者であり世界に懸替へのない人々なのである。日本人は世界恒久の平和建設の爲に充分健全でなければならぬ御國の爲に聖戦に参加して居る以上身命は固より大君に捧げた身で

五

あるが、それであればこそ益々生命は真に大切である此の意味に於て毒ガスに備へ焼夷弾に備へ又其の爲の防護施設防空壕の建設も必要になつて来る現代の戦争とは第一線のみの戦争ではなく國を擧げての戦ひであると云ふことがよく云はれて居るが今や國力を擧げて物心共に總動員し國民の行動は一切を擧げて戦争の爲に集中されて居る期であるから戦争の開始に依つて國土は何處も戦争地帯に入つたと云つてよいであらう銃後國民亦常に戦士である戦争地帯であるならば戦争効果を擧げる爲に最大の努力が拂はねばならぬ筈である、其の戦士には出来るだけ損害を少くせねばならぬ、而して第一線を離れた奥地戦線と視ふものが航空機のみであるとするれば軍の積極的防空を効果ならしむる國民防空の重要性は殊勝らしく申す要はなくあるわけである従つて又何故に防空監視が一分の懈怠を宥さないか何故に僻地の獨立家屋に燈火管制を強要しなければならぬか何故に防火防毒に懸念の努力を拂はねばならぬかと云ふことは自ら明瞭となる筈であるそして又最初に防空の全體性と云ふことを云つたのは實に斯くの如く各方面から見ても全面的に島民全部の義務となるべきであり、又全部的に協力する時に始めて効果を生ずるものであるからである防空法は地方長官市尹郡守警察署長街庄長等に防空計畫の設定を命じて居るが之も全面的に統制の必要上斯く定めて有るに過ぎず防空への協力には官民の區別等あらう筈がない官廳でも地方長官等の計畫の内容に加はり又は之に協力することを命じられて居る國民防空は何處迄も國土防衛の必要よりする國民全體の行爲である。

又防空は法律が義務として強制するから行はるゝといふのではなくて國民各自の自衛心と愛

國心の發露に基いて行はれることを基調としてゐるのであつて防衛團員や壯丁團員が何等法律に其の義務を定めてゐないに拘らず國民防空の爲に活動して居られるのは全く防空の本旨の深き理解に依ることであらう、然るに世間往々にして防空を役人や防衛團の人達のみの仕事であるかの如く考へ防空演習の時など高見の見物で過す人があつたり又喧しく言はれば面倒臭いから燈火を消して寝てしまふ、或は又防衛團員になつてゐては損することばかりだから何とか口實を設けて不參すると云つた様な向の未だ跡を斷たないのは國民として洵に辱づべきことであるのである防空が國民全部の義務であると云ふことの認識を深める爲には防空の側面團體として内地で大々的に考慮して居る防空協會の設立の事なども本島の事情に應じて眞剣に考慮すべき時期が到來して居るのではないかと思つて居る。

以上を依り私共は敵機の空襲を徒らに懼れる爲に國民防空の備えを爲して居るのではなく聖戰を充分意義あらしめる爲に必要なものであることを充分諒解出来ること、信ずる尙最後に二つの點に付て申添べて置くが先づ上記の國民防空の内容は防空法に規定する監視燈火管制消防防毒避難救護等の空襲時の非常措置の點であるが眞に國民的防空を効果あらしめる爲には更に廣く平時に於て都市形態を改善したり市街地では建設物を密集せしめず、又耐防空避難施設を建設したり緑地帯の増設都市の防火的構造の根本的考慮道路鐵道水道施設等に付て根本的に防空的考慮が當然拂はねばならぬが、之等に付ても着々と其の計劃は専門家の手を煩はして企劃中であるから近い將來の島民の御協力を期待して居るのである。

八  
次の問題としては防空の意義は諒解したが今日の戦果を見る時其の必要は消滅し少くとも最早急を要しないことではないかと云ふ疑問を起される方はなからうが、此の點に付ては現在の國際狀勢を考へ合せて前途尙必ずしも樂觀を許さないことに充分な戒心を願ひたいものである去る十一月二十一日東京で開催せられた陸軍管理事業主懇談會の席上に於て今度航空總監になられた當時の陸軍次官東條中將は「蔣政権は廣東漢口に相次ぐ大敗に不拘執拗なる抗戦を繼續しあり其の因つて來る處を觀察するに一に西南に於て英佛より西北に於てはソ聯より各物心兩面の支援を受けるに存すること極めて明白でありソ聯は我が國に對して早晩不可避の運命にある日ソ衝突に備ふる爲一方に於て極東の兵備を増強し重工業及交通施設を整備すると共に他方事變を長期持久に陥らしめ我が戦力の消耗を計劃誘致し他日の日ソ開戦の爲最も有利なる情勢を招來せしめんとすることは幾多の事象に照らし疑の餘地なし従つて我が方としてはソ支二正面に對し武力同時作戦を準備するの必要に當面せり」と口演して居られるのである、又内地新聞は軍部提出の昭和十四年度豫算には此の點に考慮を拂つて居ることを傳へて居る即ち敵國は必ずしも一支那のみ限定する譯に參らない今後益々防空の必要なる所以を洞察し島民舉つて相協力し本島國民防空の完璧を期したいと思ふ次第である。

皇軍の大捷  
を祝して  
固圉に湧く感激譜

官房法務課

本島刑務所に於ては、收容者の九二%まで、本島人であるが、此等に對し、今次の聖戦は決して支那良民を相手とするものでなく、東洋の平和を紊し、支那民族の不幸を將來する容共抗日の蔣政権を打倒し、新に日滿支三國の共存共榮を計るべき親日支那政権の樹立を援助、以て支那民族を歐米勢力の覇權より救ひ東洋永遠の平和と幸福を獲得するにありとの今次聖戦の目的を説示し、支那の現状に較べ、臺灣人の安居樂業は全く一視同仁の御聖恩の賜であるから此際諸子も日本國民として、國家總動員の趣旨を體し協力奉公の誠を致すやうにと、不斷の指導に努め、萬一、規律違反、作業懈怠等の事あらば、非國民としての待遇も止むを得ぬ旨強調し併せて逐次皇軍の連戦連勝の報を傳へた結果、事變は皇民化への拍車となり、規律が維持せられたのは勿論作業報國の念を喚起し、その成績の著しい向上を見たのであつた。

今回某刑務所内に於て、漢口陥落祝賀式を舉行、その感想を收容者より集めたが、その三、四を摘録、事變に對する彼等の認識を公にする次第である。

本島人收容者

去る十月二十八日行はれた武漢三鎮陥落祝賀記念式に参列して心に浮んだ事を申述べます。受刑者の身としてこの目出度い記念式に参列し得た私には大なる喜びと感激を覺へずには居られませんでした。衷心からの喜びと幸福感を味ふことが出来たのでございます。

神速果敢なる我が皇軍の勇戦力闘によつて、敵の堅陣、敵の第二の首都漢口は陥落して悉く皇軍の手に歸した、我に抗せる敵の最大據點、武漢の地に燦然と輝く日章旗を打ち樹てたことは、何たる感激、何たる喜びでありませうか、心の底からこの戦勝を祝賀するものでございます、そしてこの喜びに感激しながらも、命を捧げて第一線で奮戦される忠勇無双の皇軍勇士の御勞苦を忘れてはならないと思ひました。筆舌に盡せない皇軍の艱難辛苦を偲ぶと同時に心からの感謝と武漢の長久を祈らねばなりません。又戦歿せられたる勇士の英靈に對し心から感謝の合掌を捧げずには居られません。

勝利は我に歸した、然し帝國の今次聖戦の目的は、今回の勝利を以て達したのではない、惨めな哀れな支那國民を塗炭の苦しみから救ひ上げ、眞の東洋永遠の平和を樹立し確保するまで、あらゆる難關を克服する決意と覺悟を持たねばなりません。

支那をして眞の安居樂土たらしめるための建設の大事業はこれからであります、帝國は親として支那を幸

福な一人前に育て上げる偉大な仕事を擔ふて居るのであります、ですから支那大陸の長期建設の途に上る亞細亞に於ける否、世界に於ける日本のこの世界史を飾る史的使命を自覺して吾々國民は一層緊張心の緒を引きしめ確固たる覺悟と用意をもつて進まねばならないと思ふのであります。

武漢は陥落した、戦勝！ 私は皇國民たるの幸福感に浸ることが出来たのであります。左の數首を以て私の感想を終ることに致します。

戦勝を祝して

○漢口に燦々輝く日の丸のみ旗を仰ぐ日の本の民にして

○天地も草木もともに勝鬨の色に輝く今日のよろこび

二十八日夜歡喜に湧く街のひびきをきき、て

○天地もひびく歡喜のうづまきに入り得ぬ今日のかなしき我

○萬歳の聲よ淋しい我あり

本島人收容者

廿七日の夜、皇軍の武運長久を默禱しつつ、正座してゐる中に、突然市内各所のサイレン、汽笛が鳴り出した、武漢三鎮の陥落だ！前日から祝賀準備に忙しくなつてゐる所内の空氣によつて第六感が直ぐに斯く訴へてくれました、若き國民の血潮は躍りました、薄暗い獨居房に跪いて居る囚はれの者の姿と氣持はこうであります、高牆一重を隔てゐるあの廣々とした社會に居る人々が受けられた衝動はそんなものであつたら

うか！就寢してからは夢か現か人々の歡喜踊躍の有様が靜かな夜闇に感じした。

明日は臺灣神社祭、この佳き日に敵が最後の頼みし死守してきた武漢陥落の祝賀式が行はれたことは何と意義深い感激の一日であつたらう、保定陥落を筆頭として大同、上海、南京、濟南……最近は徐州、厦門、廣東、果ては今日の漢口に殆ど十回に上る陥落祝賀の市民の提燈行列に際會する度毎に、かの大地をも搖がす萬歳々々……の聲、天頂にも轟く「天に代りて不義を討つ——陸軍々歌、その姿は見えぬけれど市民のあの狂喜歡呼する叫び……等々を聞いては、あ、情けない、此時此際あの群衆と共に叫び共に歌ふことが出来ないばかりでなく、あの涙なしでは見られぬ場面を目すら見ることも出来ない、この見窄らしい我が姿を省みては、國民であつて國民でない我が身、我が罪を怨恨痛責せずには居られません、然るに恰も受刑の身に於ては誰しも持つこの氣持を神佛も憐んで下さつたのか、所長殿によつて今日の記念式が催され、國民の等しく感ずる歡喜感激の氣分を圍圍にある私達にも味はさせて頂きました、殊に今日のやうに、嚴肅な式典裡に、皇軍戰捷の歡びに咽喉も裂けよとばかり、萬歳々々——を叫ばせて頂いては提燈行列に参加し目撃し得ない私達に於て、この上もない喜びであり感めでありました、これは偏へに上 皇室の御仁慈が社會に毒毒を流した受刑者の上にも遍くたれさせ給ふこと、所長殿の御仁慈の御英斷に依ることに思ひ感佩感激に堪へざる次第でございます。

新に建設する平和な大陸、根本からやり直すべき四億の民の教育に我々日本國民は更に一段と多大の犠牲を拂はねばならぬことを覺悟しなければなりません。困苦缺乏に堪へ國家の大方針に副ひ奉る事は言ふまでもありませんが、根本の新支那の民を導いてゆく力ミする精神問題は我等國民全部に徹底されて居るでせうか、換言すれば愧しいことながらその大精神を具備して居ることは言ひ兼ねるのではなからうか、私達は戰

捷國民として支那良民に向つて威張るものではありません、或は曾つて白色人種が支那に於けるが如くに、民族的優越感を抱いて彼等を侮蔑するのでもありません、反つて大國民的襟度を開いて彼等のこれまでの不幸を憐れみ、軍閥の惡政苛治の塗炭の苦しみによつて衰弱倦怠切た彼等の手を引いて歩みゆく親か兄になつてやらなければならぬと思ひます。御訓諭や教誨によつてよく承はりました通り、この度の聖戰は決して支那民衆を相手にするものでなく反つて彼等良民を救ふために起つたものであります。暴支は全支那民衆を指すものでなく、内良民を苦しめ外抗日の夢より醒めない蔣介石一派軍閥を呼ぶのであると信じます。傳來の風俗習慣や國民性に幾多の缺點はあるとして支那の民衆の總てが惡の結晶ではないでせう、子供はやはり天真爛漫であり、老人は日滿の樂土を謳歌し、青年男女も生れながら抗日思想を持つてゐるのではあります。國民政府のために誤つたものであることを思ふに、彼等良民を救ふと共に、曾つて誤つた考へを抱いた人であつても、悔改めて良民に立歸つた者をも、皇軍は現在、占領地域の隨所に於て保護されてゐます、皇軍の將兵が到る處の良民から親ミ親まれ、救の神ミ仰がれてゐるのは、皇軍の一人一人が日本精神の權化であつて不義の敵に向つては一命を惜まずに、勇猛果敢に戦ひ、良民に對しては慈母にもまさるやさしきをもつ、世界に比類のない偉大な精神を持つて居るからであります、國家總動員法の發動により物的、人的資源確保が最大限に強調されてゐますが、本島に於てはこの外に精神資源の獲得をも要求されてゐると思はれます、本島人は内地人に對しては弟分でありませんが、支那人に對しては兄弟であります。今や皇民化運動が都鄙を問はず、盛んに行はれてゐますが、私は粉骨碎身して一日も早く尊い日本精神を體得し、幼き弟妹である新支那の乳母役なり子守役なりを務められるやうにならねばならぬと思ひます。

現在の我が身は過去の犯せる罪のためであります、將來前科の肩書をつくことを思へば暗然たるものが



一四  
あります。前科の身の私達は人間の屑であり、路傍に捨てられたまゝ、顧みられない者ですが、この國家非常時に際しては、私達のやうなものでも、何か分に應じて御奉公申上げねばなりません、今はすっかり過去の誤った思想を清算し、正しい人間に歸るため一生懸命に務めてゐます、路傍の屑である私達の再生に温い社會の同情をひたすら御願して止みませぬ。

◇  
内地人收容者

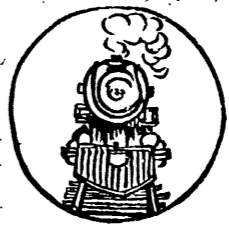
突如モーターサイレンの音、私は血湧き肉躍るの思ひ、飛び上がりたいたほぎでした、それは漢口陥落の知らせだと思つたからであります、この氣持、大和男兒の血を享けた者は残らずさうだつたにちがひありません、日本人は總て大人も子供も老ひも若きも躍り立つたに違ひありません、このとき胸にひし／＼こたへたのは、自己の境遇でした、故郷の親、弟妹のこゝでありません、立ち上つて窓を見れば、星は銀のやうに光り輝いて居ります、郷里の親、弟妹も萬歳を唱へて居るだらう、自分が社會にゐたら、思はず心の中で萬歳を叫びました、想へば昭和〇年渡臺してから、随分親不幸したばかりでなく、再び刑務所生活をせねばならぬのは何故か、過去の罪をそれからそれへミ反省し、萬一こんなことを再びやるやうなこゝであれば自決しなければならぬと思ひました、親不孝者、社會の害毒者、これを機會に刑を有意義に、修養を怠らず、再び社會に出たならば前罪の萬分の一でも償はねばならぬミ考へます、一道の光明を心中に感じました。

◇  
本島人收容者

去る二十八日の漢口陥落記念祝賀式に於て、汚れた囹圄の私共にも、参列させて戴いたこゝは感謝感激の至りに存じてゐます、君が代の合唱裡に、する／＼掲揚された國旗を仰いで、胸中に自然に湧き起る何とも言へぬ愉快さ、日本國民なればこそ、今日の幸福を味はさせて戴くのであります、若しも支那に生れてゐたらその不幸は譬へやうもありません。

願れば、事變發生以來、一年有餘、皇軍の將兵方は千辛萬苦をお厭ひなく、破竹の勢で百戰百勝、敵の首都南京は昨年既に攻略、今又第二の首都漢口を陥落せしめ、暴戾の支那軍を撃破して、東洋永遠の平和建設の大目的達成に邁進せられつゝ、あるのであります。

この時に當り統後にある國民は一致協力して如何なる艱難をも克服する、堅忍持久の精神を持たねばなりません、第一線に在つて惡戰苦闘をつゞける、將兵の方々に、後顧の憂なきやうにとめることは統後國民の義務でありますのに、私はその義務を果たし得ないばかりでなく、囹圄の身となつて國家社會に御迷惑をかけてゐますこゝは實に申譯けありません、これを思ふに、胸一ぱいに悲しさがこみ上げて参ります、さうして統後國民として覺悟を決めるこゝが遅かつたのかミ自らを恨んでも既に取返へしがつきません。今後は必ず眞人間に立歸るため一意専心修養に努めてゐます。



# 地方情報

馬利用競技會開催

〔新竹州臨時情報部來報〕 馬政計畫遂行の爲本島最初の試みとして異常の興味を惹かれた州畜産會主催の馬利用競技會は去る十一月二十日午前九時より新竹州競馬場にて開催せられた。軍部よりは、田垣獸醫部長、總督府よりは一番ヶ瀬農務課長、州よりは赤堀知事以下係員隨席の上出場馬四十九頭を以て一、馬耕、二、鞭曳、三、馱載、四、農馬レースの競技を行ひ盛會裡に終了した。

豚剥皮競技會開催

〔新竹州臨時情報部來報〕 軍需資材として皮革資源確保上豚皮利用の統制行はる、や新竹州畜産會に於ては剥皮技術の指導に努めて來た更に之が進歩向上を計る爲め十一月二十一日新竹屠場に於て豚剥皮競技會を開催し新技獎勵に裨益する所があつた。

自慢の腕を揮つて

白衣の勇士慰問

〔臺南州臨時情報部來報〕 昭和十三年十一月二十五日を納期限とする國稅、營業稅、州稅及市街庄稅は測定總金額二百四十八萬一千餘圓、同人員四十一萬八百餘人に達する状態であつたが關係當局者の銳意納稅精神の發揚に努めたるこゝ、一般納稅者が非常時局を認識し納稅報國の赤誠を披瀝したる結果は臺南州下二市六十六街庄中市を除き悉く完納し稅額九九・九%人員九九・八%の好成績を挙げ非常時財政の運営上遺憾なきを期した。

臺北、臺中獵友會では白衣の勇士の慰問會を開催した會員各自思ひの獵場を馳け廻り自慢の腕を揮つた所鴨、雉鳩、白頭翁、鳴等を臺北では四百一十一羽、臺中では三百七十三羽ミ云ふ好成績を挙げた。之等の獲物はそれれ、國防婦人會員に依つて料理されて夕食膳にのぼせられたが白衣の勇士達は此の思ひもうけぬ大晚餐に大満足し獵友會の此のすばらしい催に満悦し頗る朗らかな光景を現出した。そして料理から炊事並に食事の幹旋に眞心こめて奉仕した國防婦人會員のサービス振りはいつも乍ら美しいものであつた。

戦線の將士へ

心からなる温き慰問

時局の進展と共に銃後國民の熱誠こめた戦地への慰問品は著しく増加しつゝ、あるが愛國婦人會新竹州支部では漸く嚴寒に向ふ折柄戦地で活躍してゐる、我が皇軍將兵に對し纏て襲ひ來る寒さから防ぐ事は銃後の重大責務として州下大湖郡の特産純真綿で蒲團並に腹巻を作る事に

なり目下會員及新竹高女愛國子女團を動員して之が製作を急いでゐるが此の程一部が見事に出來上つたので戦線の勇士に送られた。

夫の武運強かれと

靈峰新高に祈る

夫が勇躍聖戦に参加してより一年有半、臺中州新高郡集々の山村に留守宅を守る勇士の夫人達は皇軍の武運よ更に長久であれ、わが夫の戦野の行手に幸あれと、靈峯新高の頂上に鎮座します守護神に祈らん小野寺夫人決死の祈願成就、今又内田、渡邊兩夫人が登山中である。七八月の登山期ならいざ知らず寒風荒天の新高山の頂上にこの壯舉は只感激の外はない。

高砂族皇民會

遣家族慰問演藝會計畫

花蓮港廳下の高砂族皇民會ではその第一着手として出征軍人遣家族の慰問演藝會を開催することに目下準備

備を進めてゐるが十二月中各郡に於て行はる、國語演習會に出演する者の中から銓衡して慰問團を組織し花蓮港を皮切りに鳳林、玉里、壽の四箇所に於て遺家族慰問の演藝會を開催し引續き國防献金、遺家族の扶助等に活躍する計畫である。

#### 胡弓も軍國調

#### 田舎も明かな時局色

事變勃發以來我が臺灣では全島を擧げて皇民化運動の徹底を期しつ、銃後の護りに邁進して來たのである。高雄州岡山郡では學校、街庄役場、警察の三部が一體となり、凡ての事務遂行に萬全を期した爲幾多の頼もしい現象が展開された。こゝは同郡楠梓庄下僻村土庫一全村を擧げて皇民化運動の徹底に目差しつ、あり毎日夜になるに壯丁、青年團員が中心となり農民達が淋しい蠟燭の火を圍んで唯一の慰安樂器胡弓で軍國日本に相應しい軍歌を口を揃へて聲高らかに熱心に習ひ覚える云ふ情景を展開し當事者を感激せしめてゐる。

#### 軍用吹製競技會

彰化郡農業組合聯合會主催第一回吹製競技會は十一月二十八日午前十時より郡役所構内に於て開催された。定刻各街庄より選手三名宛出演して時難克服に熱意氣を示しつ、吹製造の妙技を演じた。

#### 金牌を賣却して献金

臺中市内日用雜貨商團體は既往十數年來臺中城隍祭典にて受領せる多數の金牌を國策に順應すべく之を賣却して得た金四百七圓五十錢を國防献金及白衣勇士慰問金として手續を取つた。

#### 意義深い

#### 新竹從軍會

新竹市出身の今次事變從軍者諸氏相圖り從軍會なるものを組織し、十一月二十八日一周年を迎ふに當り、此の思出深き日を記念する爲め、例會を催し當時を追憶し困苦缺乏に耐へ皇軍將兵の偉大なる戦果を偲ぶ處があつた。



## 華僑

### 情報

#### 臺北華僑軍人家族の慰問金募集

臺北華僑新民公會では今次事變の戦死傷者遺族並に出征軍人家族慰問の爲總公會を通じ全島各地の華僑公會に檄を飛ばし慰問金を募集する事となつたが慰問金は來る二十五日迄に取纏め各地社會課又は社會係を通じ遺家族に夫々贈る事となつて居る由。

#### 基隆華僑祝典舉行

中華民國臨時政府成立一周年記念日の十四日基隆華僑新民公會では大々的に之を慶祝すべく午前九時半より同

會館に於て栗飯原要塞司令官、高橋憲兵分隊長、近江時五郎氏外官民多數臨席の下に慶祝祝典を舉行したが定刻宋理事の開會の辭に次いで一同起立し皇居遙拜、日華兩國國旗に對し敬禮、日本軍の武運長久祈願並に戦没將兵に對する一分間の黙禱を捧げた後駱常任理事より落日の蔭政權を撲滅し日華提携の下に東亞永遠の平和を建設せよとの意味の宣言文を朗讀、更に陳會長より慶祝の言葉述べ續いて要塞司令官、近江氏より夫々祝辭があつて後大日本帝國萬歳、臨時政府萬歳を三唱して午前十一時過ぎ閉會した。

#### 北斗華僑團會長の感想

北斗郡華僑新民公會に於ては、日本政府の金買上げ方針に協力し臺灣華僑新民總會の所持金地金の賣却獎勵方針に則り金賣却運動を爲し來れるも其の狀況不明なるに依り去る十二月一日役員會開催當日賣却狀況に就てその數量を具體的に十二月七日迄の會長宛報告するやう申合せを爲したるが期限内に報告し來れる者の總數量七

八、九九四号である。

### 交趾支那華僑の動靜

武漢廣東失陥直後に於ける該地方華僑の動向左の如し。

一、該地漢字紙が後れ馳ながら一齊に武漢、廣東陥落の事實を報ずるや一般華僑の周章狼狽し落膽は言語に絶し支那領事及各抗日團體の必死の逆宣傳も徒勞に歸し國民政府の信望全く地を拂ひ長期抗戰の意氣今那邊に在るやを疑はしむる感がある。

二、茲に於て中央政府は即時新に顏復張某を越南に捐疑委員會正委員長に任じ救國總會亦五名の宣傳員を專任の上蔣政權繼續援助に全的の最後の努力をしつ

二〇

三、即ち強制献金を拒絶するもの發出し領事館救國總會及總商會等へ献金者激減し信局は廣東省各地向送金取扱を停止し又各漢字紙は失陥後旬日を出ずして何れも五六百部の買上げ減少を見るに至つた。

四、依て救國總會は十二日孫文誕辰祭に催す豫定であつた夕劇會「義捐興業」を中止し又過日の新嘉坡南洋華僑大會の決議實行もその結果疑はしく一時取止めせる趣である。

五、一方華商の日貨大口取引は排日團體の直接行動を憚り形勢靜觀の態にて今の處從前通手控へ氣味であるが小口取引は其後遂日増加の傾向を辿り事態漸く好轉の兆を見るに至つた。

## 事変日誌



### 臨時情報部

十一月二十七日

- 1 廣東南方デルタ地區掃蕩戰開始に先立ち夏民票を撤布宣撫工作に努めたり。
- 2 殘敵掃蕩部隊は石樓鄉(蓮花崗砲臺山麓)に突入殘敵掃蕩、次いで沙路村—下龍村—新滄—沙園—南村—市頭村附近の敵を殲滅せり。
- 3 北支に於ては連日各地に於て敵匪を掃蕩、治安の確立に向ひつゝあり。
- 4 空軍の活躍
  - 【宜昌】—飛行場、倉庫、兵營を爆破炎上
  - 【益陽】—敵軍司令部、軍事施設を爆撃
  - 【漢口】—【蕪湖】—【石盤口】—【粵漢線】—列車群、倉庫三棟を爆

破炎上。

- 5 日滿支經濟大阪懇談會本日より開催せられたり。
- 6 廣東自治委員會成立
 

廣東に於ては義に自衛團を組織治安維持に努めつゝありしが今回治安維持會成立の前提として自治委員會を組織し秘書、治安、民政、財政の各課に分れ夫々事務を分擔することになり。

十一月二十八日

- 1 曲沃(山西省)守備隊は二十五日以來行動を開始南方部落に據る紅槍會匪を掃蕩せり。
- 2 中支振興會社總裁兒玉謙次氏は着任に當り本會社の設立は「日支經濟提携の直接最大の具現であり、東亞和平確立の基礎工作なり」の聲明書を發表せり
- 3 中央政府樹立促進の全體代表大會を向ふ三日間に亘り南京に於て開催せられたり。
- 4 武漢の外廓各地に治安維持會成立—日支合作に依り農村の開發に邁進すること、なれり。

十一月二十九日

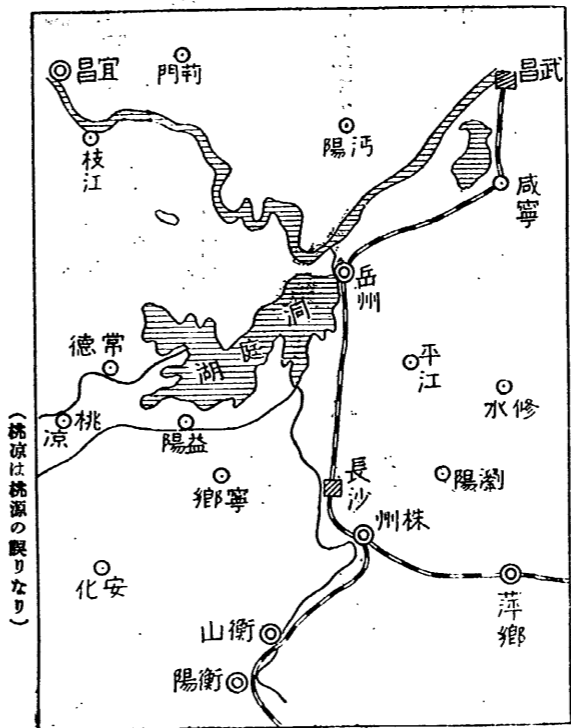
三一

1 連雲港方面の殘敵掃蕩

本月中旬以來連雲港附近の殘敵を掃蕩中なりし海軍陸戦隊は航空隊の緊密なる協力作戦の下に同地区、北雲臺、山東省南部山地一帯に蟠踞する頑敵を襲撃し潰滅的打撃を與へ尙引續き戦果を擴張中なり。

2 空軍の活躍

【壽縣】(山西省中部)―共産匪の根據地を徹底的に粉碎。  
【荊州】(湖北省)―大編隊を以て襲撃、猛烈なる地上砲火を冒して飛行場、軍事施設、集結中の大部隊を銃爆撃、全機無事歸還。  
【定昌】―飛行場、附屬建物、倉庫、兵舎を爆撃。  
【襄陽】(湖北省)―敵兵滿載のトラック群を銃爆撃潰滅。  
【廣寧】―敵陣地爆撃。  
【貴陽】(大石)〔南支〕―珠江々岸掃蕩中の地上部隊に協力敵據點掃蕩及敵軍用舟艇群銃爆撃。  
【羅石】(山西省西部)―附近の敵第七十一師の據點を攻撃これを潰亂。



(桃涼は桃源の誤りなり)

3 空軍の活躍

十一月三十日  
1 御前會議開かれ日支關係調整根本國策決定せられたり。  
2 白泥水(廣東西方)沿岸を北上中の部隊は早朝横沙、三江を奇襲殘敵を殲滅、武器多數鹵獲せり。  
3 空軍の活躍

【定昌】―飛行場、倉庫及附屬建物爆撃。  
【長沙】(湖南)〔南支〕―各縣構内建物、貨車群爆撃。  
【河漢】(和平)〔南支〕―反復空襲敵に激滅的打撃を與へたり。  
【湯隴】(從化北方二十五軒)―廣東軍進を企圖し蠢動する第四路軍の重要據點爆撃。  
【貴陽】―飛行場、軍事施設、燃料庫爆撃炎上。  
【桂林】―敵軍潜伏の重要施設を反復爆撃炎上。  
【封川】(都城)―西江にありし敵軍用艇を銃爆撃潰亂。

4 訪日コンドル機立川飛行場に到着

二十八日午後三時五十分ベルリン出發、歐亞一萬五千軒を僅々二晝夜にて翔破、三十日午後十時十分五十二秒立川飛行場に到着、世界航空史に輝く金字塔は盟邦ドイツの手に燦然と建てられたり。

十二月一日

1 威海衛海軍陸戦隊は同地の保安隊を伴ひ航空隊協力の下に附近に蠢動する殘敵の掃蕩戦を展開一舉にこれを殲滅せり。  
2 北江及蘆包壩附近の殘敵討伐中の部隊は范湖圩附近に於て頑敵と遭遇我が部隊は機動力を利用しこれを完全に包圍殲滅せり。

3 空軍の活躍

【陽江】(海豊西方五十軒)―敵の基地を急襲爆撃敢行。  
【龍口】(大辛店)〔山東省〕〔新浦鎮〕(浙江省)―殘敵の據點に陣地爆撃。

4 廣東郵政事務復活

皇軍は多大の犠牲を忍び外人、支那人の郵便物主として手紙葉書を取扱ふことゝなれり。

5 漢川に治安維持會成立せり

天津日華經濟聯盟結成式を舉行せり。

十二月二日

1 南支派遣軍は潭州水道を南方に渡河猛進襲撃廣東南方地區の敵の掃蕩戦を開始せり。

我が軍の廣東占領と共に將軍閣の武器、彈藥等の軍需品輸送路たる廣九線、廣東、三水の諸水道の要點を扼したる爲、敵は窮余の策として西江下流より高明―高要(肇慶)方面に新ルートを求め軍需品を輸送しつゝあり、而も向デルタ地方に優勢なる敵軍存在せしかばこれを殲滅し敵の輸送路を根本塞源的に遮断するため今回の掃蕩戦を開始せり。

2 空軍の活躍

【衢州】(浙江省)〔玉山〕(江西省)―飛行場大破、驛構内の

軍需品満載の貨車三十輛爆破。  
 【重慶】(洞庭湖南岸)一軍事施設及密集大部隊を猛爆。  
 【重慶】(鄂陽多斯)一三回に亘り空襲傳作義軍に大打撃を  
 與へたり敵は沙漠不毛の地に潰走。  
 【重慶】(粵漢線)一貨車群を粉砕又は顛覆せしめ又大小倉  
 庫數棟を爆破炎上。  
 【重慶】(巴官劫)一飛化東方一集結部隊を銃爆撃潰亂。  
 佛山に治安維持會成立せり。

十二月三日

1 九江占領。

西江岸にあり水陸交通の要衝にして廣東陷落後の將政  
 權、の軍需品輸送の重要據點なり。  
 我が西江デルタ地區掃蕩部隊は龍江を奇襲敵を擊破占領  
 水上機動隊は水路より甘竹一壘を攻略一兩部隊相協力  
 九江に突入午後〇時十分完全に占領せり。

2 空軍の活躍。

【東勝】(河曲)一渡河移動部隊及城内密集部隊を爆破潰滅  
 【玉山】(吉安)一兩飛行場を全面的に爆破。  
 【重慶】一所在の敵及軍事重要點を爆撃。  
 【重慶】(重慶)一偵察快翔螺旋する殘敵を爆撃潰亂。  
 【高要】一敵砲臺を攻撃大破。  
 【西樵山】(瀛山嶺)【蘭村】一西江デルタ討伐地上部隊の作

戰に協力殘敵を偵察爆撃潰亂。  
 3 山西省に蟻踞部下千五百餘を有する有力遊擊隊長  
 原羅芳は部下を率いて我軍に歸順せり。  
 4 漢口空襲に當り護國の華ミ散りし海の荒鷲の勇士  
 の慰靈祭が其の後發見されし荒鷲機の殘骸の前で壯  
 嚴に執行されたり。  
 5 海軍獻納國號命名式舉行せられたり。  
 海の荒鷲の休勳に感激し銃後國民の赤誠に成る海軍獻  
 納の魚甲萬號外六機の命名式は霞ヶ浦飛行場に於て行  
 はれたり。  
 因に國民赤誠の結晶である報國號は二百七十餘機にし  
 て既に大陸に活躍し赫々たる武勳を重ねし機は二百機  
 を突破せり。

十二月四日

1 赤泥圩(粵漢線新街西方十一軒) 附近に蟻踞せる正  
規軍を急襲潰走せしめたり。

2 空軍の活躍。

【宜昌】一對岸地區に散在する軍需品、倉庫數棟爆破。  
 【重慶】(重慶)一市内の軍事施設を猛爆炎上。  
 (以下大號)

部報創刊號よ (括弧内は  
りの主要内容 (其號を示す))

- ◎帝國政府聲明……………(14・43)
- ◎帝國政府聲明に就て……………(43)
- ◎重慶總督……………(12)
- ◎新軍の辭……………(15)
- ◎對支國是に對する島民の覺悟……………(24)
- ◎天皇節を祝し奉りて……………(42)
- ◎漢口陷落記念式に於ける告辭……………(46)
- ◎地方長官打合會に於ける訓示……………(19)
- ◎第三十三回陸軍記念日に當りて……………(36)
- ◎總務長官……………(36)
- ◎東洋平和と國家總力戰……………(46)
- ◎地方長官打合會に於ける訓示……………(36)
- ◎臺灣軍參謀長……………(1)
- ◎經濟戰に處すべき島民の態度に就て……………(2)
- ◎總督官房……………(3・4・5)
- ◎臨時情報部……………(1)
- ◎排日運動の歴史……………(2)
- ◎銃後の國民は何をなすべきか……………(2)
- ◎南支に於ける同胞の活躍と支那……………(3・4・5)

- 時局下の臺灣……………(4)
- 事變下に於ける本島の勞務事情……………(6)
- 支那の邦人迫害と支那人への我……………(6)
- が温情……………(7)
- 本島に於ける賦金狀況……………(7)
- 比律賓の概觀と支那事變の影響……………(10)
- 英領馬來と支那事變……………(11)
- 生活改善の活動……………(11)
- 支那事變と蘭領印度……………(13)
- 支那事變とシヤム……………(14)
- 臨時政府支持在臺華僑大會の狀況……………(15)
- 佛領印度支那と華僑……………(16)
- 海南島の展望と支那事變……………(17)
- 國家總動員と本島青年……………(19)
- 空襲に動せる銃後の躍り……………(19)
- 武器なき誠ひ思想戰……………(21)
- 廈門攻略について……………(26)
- 徐州の陷落と我が包圍作戦の進展……………(27)
- 始政記念日に當りて……………(28)
- 時局下に於ける勤勞奉仕……………(29)
- 支那事變一週年を迎へて……………(30)
- 竹田宮大妃殿下を迎へ奉りて……………(31)
- 事變一週年記念日に於ける在臺……………(32)
- 華僑の動靜……………(35)
- 金報國運動に就て……………(37)
- 南洋に於ける華僑……………(40)
- 最近の廈門……………(40)
- △國畫展……………(7)
- 戰時經濟に對する一般國民の心構え……………(7)

- 國家總動員法の施行に當りて……………(24)
- △法務部……………(24)
- 困窮に於ける銃後の赤心……………(28)
- 事變下の司法保護事業……………(38)
- 皇軍の大捷を祝して困窮に湧く感激……………(74)
- △外務部……………(84)
- 南支に於ける外政……………(85)
- ズデーテン獨逸民族問題……………(89)
- 廣東攻略に際して……………(42)
- △臨時南支圖畫局……………(44)
- 攻略後の廣東の情勢……………(44)
- 文藝局……………(44)
- △社會部……………(1)
- 支那事變と皇軍の威力……………(12)
- 本島に於ける神社造營の趨勢に就て……………(33)
- 國民心身鍛鍊運動實施に就て……………(38)
- 銃後を援強化週間に就て……………(48)
- 國民精神作興週間に當りて……………(48)
- △學務部……………(29)
- 全臺灣學校皇軍慰問計畫實施に就て……………(80)
- 學校に於ける皮革資材消費節約……………(48)
- △臺北帝國大學……………(48)
- 勤勞奉仕作業……………(31)
- △臺北高等商業學校……………(31)
- 集團作業……………(31)

二六

◎内務局	...	(38)
△土木課	非常時局に発生せる臺灣三國立公園(15)	
△地方課	新增税と地方税との關係に就て(25)	
△防空課	防空法施行に當りて空の覆りを固くせよ(20)	(7)
△防犯課	時局下の臺灣國民防空に就て(47)	(20)
◎財務局	經濟戦への根強き協力を要す(44)	(47)
△稅務課	北支事件特別税に就て(2)	(44)
△金庫課	非常時局と國民納稅精神の發揚(12)	(2)
△金庫課	事變下に於ける臺灣の新增税(23)	(12)
△金庫課	臨時資金調整法に就て(6)	(23)
△金庫課	愛國貯蓄運動に就て(27)	(6)
△金庫課	臨時資金調整法令の改正に就て(41)	(27)
△保安課	支那事變と新聞出版物取締に就て(5)	(41)
△衛生課	本島に於ける事變防疫衛生(10)	(5)
△警務課	支那事變に關し執りたる措置(18)	(10)
經濟警察に就て	時局下の高砂族(8)	(18)
△理番課	臺灣農民の對來報國に就て(9)	(8)
△農務課	臺灣農會及臺灣畜産會公布に就て(18)	(9)
△農務課	臺灣の農業移民概況(25)	(18)
△農務課	臺灣農業義勇團の近況(28)	(25)
△農務課	東亞農林協議會と臺灣農林業の地位(45)	(28)
△商工課	銅鐵ステープルファイバーの需給調整に就て(9)	(45)
△商工課	並に其概説(26)	(9)
△商工課	經濟戰強調週間の實施に就て(36)	(26)
△鑛務課	支那事變と本島の鑛業(14)	(36)
△鑛務課	石油の消費規正と販賣取締規則に就て(28)	(14)
△水産課	改正金使用規則に就て(37)	(28)
△水産課	時局と重要礦物の増産に就て(46)	(37)
△水産課	時局と水産施設(17)	(46)
第五回全國水産デー	時局と本島の林業(22)	(17)
△山林課	國策とラヂオ(41)	(22)
△山林課	ラヂオの使命と臺灣の放送(22)	(41)
△監理課	郵便貯金に現はれたる銜後の赤誠(40)	(22)
△監理課	臺灣工業露田の擴張(18)	(40)
△監理課	臺灣の酒(20)	(18)
△監理課	愛國行進曲(13)	(20)
△監理課	愛國行進曲(14)	(13)
△監理課	非變下に海軍記念日を迎へて(26)	(14)
△監理課	國民精神轉動員本部(7)	(26)
△監理課	八紘一宇の聖旨(21)	(7)
△監理課	臺灣聯合青年團(34)	(21)
△監理課	臺灣聯合青年團に就て(33)	(34)
△監理課	臺北州教育課(29)	(33)
△監理課	勤行報國運動に就て(29)	(29)

臺灣總督府臨時情報部

昭和十三年十二月十九日印刷  
昭和十三年十二月二十一日發行  
(月三回發行)

臺北市榮町二丁目十五番地  
 印刷人 加藤 豊吉  
 臺北市京町一丁目四十三番地  
 印刷所 小塚本店印刷工場